

しがき にじ か  
志柿虹花さん  
(菊池女子高校1年)



おいしい食べ物を  
安心して  
食べられる町に  
なってほしい!

もり とし お ほる み  
森 敏夫さん・春美さん  
(上住吉)



車がなくても  
高齢者でも自由に  
活動できる  
交通網が整備  
された町

## 菊池の未来を 一緒に 描きませんか?

### 第3次菊池市総合計画策定中

市では現在、令和4年から8年間のまちの将来像を描く「第3次菊池市総合計画」の作成を進めています。菊池の未来は、市民一人一人の未来です。皆さんは、どんな未来を描きますか。

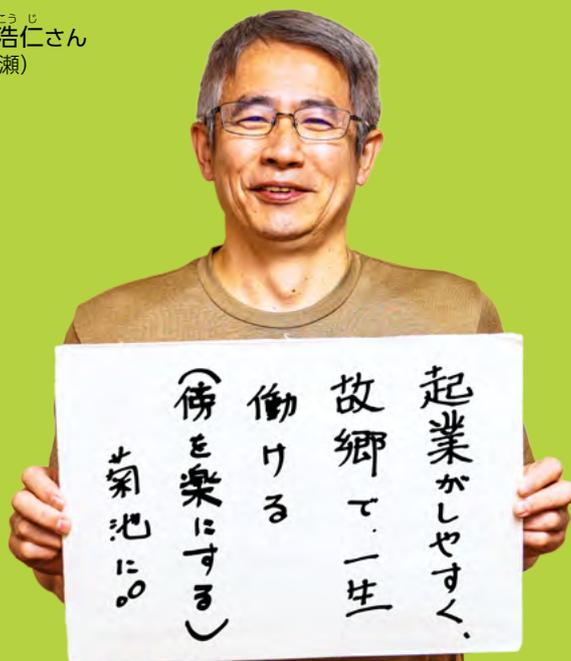
【問い合わせ先】  
企画振興課企画係 ☎0968(25)7250

みやざき あかり なほ  
宮崎亜佳里さん・菜帆ちゃん  
(桜山八)



お年寄りから赤ちゃんまで  
こころよく、明るく元気に  
暮らせる町にふて欲しいです。

じょう こう じ  
城 浩仁さん  
(高野瀬)



起業がしやすく、  
故郷で一生  
働ける  
(傍を楽にする)  
菊池に。

このアイコン、見かけませんか？



エスディージーズ  
持続可能な開発目標 (SDGs)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。これらの目標は、各国政府による取り組みだけでは達成が困難です。企業や地方自治体、市民社会や個人一人一人に至るまで、すべての人の行動が求められている点がSDGsの大きな特徴です。SDGs達成のカギは、一人一人の行動に委ねられています。

高校生もSDGsに取り組んでいます



高校独自でSDGs宣言を実施

菊池農業高校では9月18日、SDGsについての講演会やワークショップを開催。目標の達成に向け、高校として、また個々の生徒でできる取り組みを学ぶことができました。高校独自の「SDGs宣言」も実施。菊池農業高校では、今後もSDGs達成に向けて活動を続けていきます。



第2次菊池市総合計画の前期と後期をまとめた冊子。概要版を企画振興課で配布しています

# まちの将来像を築く「総合計画」

市の課題は複雑に絡み合っているため、市民と一緒に取り組むことが解決の糸口になります。どうやって課題解決につなげていくのか、総合計画の役割や重要性について聞きました。

市が目指すまちづくりの方向性を示す

「総合計画は、市政の最上位の計画です」と話すのは、市企画振興課の上野重智係長。「行政が携わる全ての分野における主要な事業の長期的な方針を示すものです。各部署の事業は、この計画の方針に基づいて進められています」市の総合計画は、目指すまちの将来像を明らかにし、事業の大枠を示すための長期間にわたる基本構想と、期間を前期と後期に分け、基本構想を実現するための手段、方法を取りまとめた基本計画に分けられます。

行政の課題は複雑で数多くあり、そのいずれもが短期間で解決できるものではありません。長期間にわたる計画を策定し、まちの将来像を目指して事業を進めていくことで解決につなげていく狙いがあります。総合計画は、市が目指すまちづくりの大きな方向性を示す役割があります。

この基本方針を掲げています」と上野係長は説明します。「今回初めて盛り込む持続可能な開発目標 (SDGs) の視点は、今後の社会を考えていくにあたり、重要なキーワードになると思っています」

市民とともに未来を描く

「多様な市民の意見を取り入れることも特に重要です」と上野係長は続けます。「行政の課題は行政だけで解決で

総合計画の基本方針

平成27年から7年間を計画期間とした「第2次菊池市総合計画」に沿って各種事業を進めており、現在は後期基本計画の計画期間を2年残した状況です。第2次総合計画の計画期間終了後を見据え、令和4年から8年間を計画期間とした「第3次菊池市総合計画」は、すでに検討を始めています。

「第3次総合計画を策定するにあたり、①多様な市民の意見を反映させる、②実効性のある計画とする、③社会情勢の変化に対応する、④持続可能な開発目標 (SDGs) の視点を取り入れる、これら4

きるものではありません。行政と市民が一緒になって、協力して取り組むことで課題の解決につながると思っています」と力を込めます。現在策定中の第3次総合計画でも、市民アンケートを取ったり、地域の皆さんと一緒にワークショップを行いました。「前回の第2次総合計画の策定時も市民アンケートやワークショップを行うことで、活発な意見交換をすることができました」



企画振興課企画係 上野重智 係長

気軽に参加してほしい

知り合いから声をかけてもらいワークショップに参加しました。いろんな人が集まって意見を出し合うのはとてもいい刺激になりましたよ。職業や年齢、価値観の違う人たちと話をすることで、一人では考え付かなかった発想が飛び出してくることもあります。いろんな人が集まって考えることで、情報量が多くなり、発想はどんどん大きく膨らみます。その場で話が弾んで新たな事業に取り組み始めた人もいて、良いきっかけ作りになると思います。興味はあるけど参加を迷っている人は、一人でも気軽に参加してほしいですね。



上野智美さん(大琳寺)

菊池の未来を  
みんなで語ろう

まちの将来像を築く「総合計画」。市民と一緒に課題を解決していくため、今回も市民ワークショップや策定審議会を行います。

より良い菊池市に  
していきたい

上野係長は「総合計画は未来を描くもの、まちの将来像を築くものです。皆さんと一緒に、菊池の未来を語りたいです」と呼びかけます。「8月には市民5千人を対象にアンケートを実施しました。10月から11月にかけては市民ワークショップも行います。より良い菊池市にするためにも、市民と考えていきたいですね」と笑顔を見せます。菊



みんなで考えると、新たな発見が

対話を通じてさまざまな考えに触れ、新たな気づきが得られるワークショップ。第2次総合計画作成時にも行っています。前回の参加者に、当時の内容を振り返ってもらいました。

若い人の意見が大事

私は菊池市文化協会の副会長をしていましたので、その関係で参加しました。たくさんの人と関わるのが好きで、いろんな団体に所属しています。ワークショップでは団体としての意見やこれまで自分が考えてきたことを話しましたが、大勢の人と話し合うことで今まで思い付かなかった発見もありました。初めて会う人も多かったのですが、課題に対して活発に意見交換ができたと思っています。市の未来を考える場でもあるので、できれば高校生や大学生など若い人たちに積極的に参加して意見を出してほしいです。



園木洋二さん(間所)

第3次菊池市総合計画 策定に向けてのスケジュール

令和2年	8月	市民アンケート
	10~11月	市民ワークショップ
令和3年	1月~	審議会(全7回を予定)
	11月頃	パブリックコメント(計画の内容についての意見募集)
令和4年	2月	議会(計画の内容の審議・議決)



第2回 市民ワークショップ

テーマ 市全体の未来を考えよう

とき 11月15日(日)

①午前10時~正午 ②午後2時~4時

ところ 中央公民館 大研修室

定員 先着30人 申込期限 11月10日(火)

申込方法 電話またはメール

※詳しくはホームページをご覧ください ▶▶  
※感染予防対策を徹底して実施します。



申し込み先

企画振興課 〒861-1392 菊池市隈府888番地  
☎0968(25)7250 FAX:0968(25)1113 メール:kikaku@city.kikuchi.lg.jp

※感染予防対策を徹底して実施します。

策定審議会委員募集

応募条件 18歳以上の市内在住か在勤で、平日昼間の会議(7回程度)に参加できる人。

任期 委嘱の日から策定が終了(令和4年2月頃)するまで。

募集人数 2人 応募期間 11月2日(月)~16日(月)

応募方法 応募用紙を持参か郵送、またはFAX、メール

※応募用紙は企画振興課の窓口で配布します。  
ホームページからもダウンロードできます。▶▶▶



自分たちの目線で未来を考えよう

今 後も、総合計画が大きな指針を示す役割は変わらないと思っています。大切なことは、自分たちのまちはどんなまちか、どんな暮らしをしていきたいかを、自分たちの目線で考えること。ワークショップでは日頃考えていないことも考えることができるので、新しい視点が得られると思います。考えを形にしていきたいのも大切です。時代の流れで取り組んでいくべきものは変わっていくかもしれませんが、雑談でもいいので、まちの課題を普段から地域で話せる雰囲気になっていくといいですね。

インタビュー | 専門家の声



熊本大学 熊本創生推進機構 上野真也 名誉教授